

## 2018－19年度EMC事業通信 No.8



2018－19年度EMC事業主任 小野 <sup>とくふ</sup> 勲紘(六甲部西宮)

### ○私たちにワイズはほんとうに必要なのか？

＊12月末現在の会員数は**1, 512名**(前期比+48名)／83クラブ

＊1月1日付後期半年報の数は**1, 490名**(前期比+26名)

1月1日付の半年報の数字が出揃いまして皆様には1, 490名という数字が報告されました。しかし、提出いただいた「会員異動報告書」による集計では上記の数字になっていました。順調に推移しているのかのように樂觀していましたら、実際の数字とはかなりの乖離があり、愕然としております。この傾向は毎年のことですが、大きな差にはがっかりします。入会時にはワイズキットなどの送付の関係から大きな差がなく「会員異動報告書」を提出いただいておりますが、退会時や連絡主事の異動等で漏れがあるようです。今後とも確実に「会員異動報告書」を提出いただきますようお願いいたします。下記の集計は半年報の数字を基にして修正したものです。特に今期は9月1日に九州部において「熊本五福クラブ」(27名。内5名は既存クラブよりの転会)が華々しくチャーターされて、期待が持てるスタートでしたが、その割に九州部の数字が伸びていません。やはり一方退会もかなり多くなった結果だと思われます。その原因となる動機の分析と対策も必ず行って今後の方向を質していきたいものです。

この5月に向けて、中部の再生「とやまクラブ」がチャーターの準備に最後の詰めを行っております。そんな中でいくつかのクラブはその役目を終えて収束の時を迎えようとしています。高齢化と会員の減少は多くの場で重ねて到来してきます。国際協会では5名でクラブチャーターの基準を緩和されました。しかし、それはクラブの活性化がどちらを向いているかで、希望にもなり、失望にもなります。せっかく5名という緩和策が出たのですから、上向きの希望に溢れるクラブのスタートでありたいものです。

通常は各クラブ、各部においては新規チャーターの目途や方向が見えてから「(仮称)〇〇クラブ新規設立準備委員会」なるものが設置されて多くのメンバーが準備に当たります。しかし、そういった機運が出てこないと活動すらスタートしないという風潮が見受けられます。そこで、提案ですが、具体的な候補や立地があろうとなかろうと、部毎に常設の「新クラブ設立準備委員会」なる組織を立ち上げて欲しいのです。そこには、YMCAの拠点(ランチや保育園など)を中心としたクラブ(大阪、神戸、大阪西、名古屋、京都、北京都フロンティア、岩国みなみ、熊本五福など多くのクラブ)、教会員を中心としたクラブ(北欧のクラブの殆ど、近江八幡はヴォーリーズ氏が滋賀YMCAと共に作ったクラブ)、YMCAのリーダーOBOGを中心としたクラブ(西宮クラブは80%がリーダーOBOG)、個人事業主を中心としたクラブ(京都部の多くのクラブ)、趣味の仲間が作ったクラブ(芦屋クラブはテニス仲間)など多くのケースが考えられます。そういったケースをまずは立ち上げた設立準備委員会で模索してお友達を是非、

お誘い下さい。

#### ○EMC 事業通信特別号(「EMC のバトンタッチ」)への原稿お願い

今期は各部部長ならびに各部 EMC 事業主査を通じて、「EMC の」バトンタッチ」への原稿をお願いしております。皆さまの EMC 事業におけるご経験やノウハウ、クラブでの取り組みなどを原稿に認めて送付下さい。西日本区の皆様にご覧いただき、水平展開したいと思います。

#### ○EMC 事業実施報告書のお願い

皆様のクラブにおいて EMC 事業についてのイベントを開催された場合、「EMC 事業実施報告書」に記載いただき提出下さい。出来ましたら写真も添付下さい。内容は問いません。EMC 例会、プラスワン例会、移動例会など会員増強を目指したものであれば何でも結構です。書式は HP 内の資料庫からご利用下さい。

#### ○中部とやまクラブ新規チャーター

中部ではとやまクラブが15年の期間をにおいて、この度蘇ります。2月10日に設立総会を終え5月11日のチャーターナイト(国際協会認証状伝達式)を迎えます。皆さままで一緒に門出をお祝いしましょう。富山駅から10分の富山自遊館で開催されます。

#### ○各部における組織上の課題

各部には部会や EMC シンポジウムなどの機会に評議会にも臨席させていただく機会もありました。その中で今期の後半に入ると次期人事構想が如実に到来してきます。そこで目にするのは次期の部長やクラブにおいては会長を受ける人がいないという切実な問題です。メンバーの少ないクラブでは一人の方が何度も部長や会長を経験されている実状を目にします。メンバーが潤沢におられた時期には出来た「輪番制」にしても次の順番が回ってくることはまずないだろうということで、まあ1回位は義理でも努めなければ仕方がないということで、何とか熟せてきました。

しかしメンバーが少なくなってきましたと切実になってきます。ワイズにおいては役割が回ってきたら決して断ってはいけないという不文律も、高齢で健康にも自信がなくなってくると辞退せざるを得なくなります。「会長を詰めなければならなら辞める」といった言葉を決まり文句とされている方には無理強い出来なくなってきました。「輪番制」の限界を感じるところです。

こういったメンバーの少なくなってきたクラブは単独でキャビネットを構成することは不可能であるでしょうから、複数のクラブがチームを組んでキャビネットを構成するといった道をお勧めします。チームとしてはせめて合計で20名以上は必要でしょう。なぜならこれらをサポートするメンバーも必要だからです。組織というものはいつまでも旧態依然として硬直化します。時代とその容態によって変化工夫していかなければなりません。是非再生すべき一番効果的な組織と人選を行っていただきたいものです。

#### ○EMC シンポジウム各部においてほぼ終了

7月22日(日)の九州部を皮切りに西日本区内の EMC シンポジウムの日程をほぼ終了いたしました。京都部におかれては2回目のシンポジウムをこの2月4日にも開催され意欲的に活動されています。1回目は基本的に EMC の立場から過去のデータを基に問題点を洗い出し、今後進むべき道の模索を行いました。この中で抽出したデータの中の問題点については、別途「入退会動機」の分析作業が未了です。この「入退会動機」の洗い出しにより、今後打ち出してい

ねばならない「具体的対策」につなげなければなりません。この作業はいかにワイズにおいて満足感を得ているかの実感が問われるところで、次期の牧野ワイズに期待するところです。私は今期においてその基礎となるデータとして提供したいと思っ  

 ています。なぜならワイズに満足感を得ていなければ退会するはずがないか  
 らです。退会する多くの方はワイズに失望して去っていかれるかとは何としても  
 避けたい課題です、転勤や家族の介護、逝去や健康上の課題など止むを得  
 ない事由は沢山あります。しかし、満足感が得られず、失望の中に退会され  
 るのは残念です。そういった実際の姿を浮き彫りにして次期につなげたいと思っております。皆  
 さまの絶大なるご協力を期待するものです。京都部においても中西部においても、2回目のシン  
 ポジウム(フォーラム)においては、交流やクラブ独自のEMC例会の紹介などを行いました。中  
 西部においては、EMCの中には「交流」あつてこそ、仲間を呼べるのだということから、まずは  
 中西部内に交流を見直したものでした。

#### EMC シンポジウムの基本スタイル

- ① ワイズ将来構想特別委員会制作の「新生ワイズ起こし運動」の DVD 上映
- ② EMC 事業主任から過去のデータに基づく説明と課題の抽出ならびにその対策
- ③ ワイズ将来構想特別委員会の森田委員長の講演
- ④ メンバーの自由討議

※その他

#### EMC シンポジウム開催実績

1. 九州部(評議会に併せて)7月22日(日)熊本 YMCA
2. 六甲部(同上)7月29日(日)神戸 YMCA、第1回評議会に合わせて
3. 京都部8月24日(金)京都メルパルク
4. 中西部8月25日(土)大阪木材仲買会館
5. 阪和部9月8日(土)南大阪 YMCA
6. 西中国部9月29日(土)西条市内のホテル、部会に合わせて
7. 中部12月22日(土)名古屋YMCAにて第2回評議会に合わせて
8. びわこ部1月26日(土)近江八幡アクティ草津市勤労会館
9. 京都部(2回目)2月5日(月)京都ホテルモントレ
10. 中西部(2回目)2月17日(土)大阪YMCA土佐堀会館

おります。皆さまから戴いた貴重なご経験やノウハウをこのコーナーでご高覧いただき、皆様のクラブにも水平展開いただくことを期待しております。また皆様のクラブで EMC 事業の例会やイベントを開催されておられる場合、どしどしご報告下さい。内容のスタイルは問いませんので、少しでも多くのメンバー獲得に寄与するイベントであれば何でも結構です。ワイズだけでなく一般の皆様にもアピールするイベントであれば大いに歓迎です。

#### ○今後の予定

- 12月中旬: 国際ブースター賞申請案内。YES 献金のご案内。  
 1月末: 国際ブースター賞適用期間終了。申請締め切り: 2月10日。  
 2月中旬: 第3回 EMC 事業員会。  
 3月15日: YES 献金振り込み締切。(適用人数7月1日付半年報人数×500円)  
 3月末: 西日本区大会における表彰対象新申請締め切り。4月10日: 申請締切。

## NGT 9 8 作戦！

N賑やかな例会に、G元気で若々しく、T楽しいお友達を98人お招きしましょう。

### 《コラム》 西日本区 EMC 事業改革に再挑戦 EMC 事業主任の大きな独り言

ワイズにおける EMC とは？-交流の難しさと願い-

《第7号で途中で途切れてしまいましたので、再度掲載させていただきました》

皆さんは EMC という、会員を増強するために勧誘活動を行ったり、退会のないように例会を充実させるといった表面上の啓発活動だけだと思いませんか。では皆さんにお尋ねいたします。皆さんはワイズメンズクラブを辞めたいと思ったことはありますか？ 実は私は何度もあります。では、それなのによく今迄在籍して、おまけに皆をリードするお役目の EMC 事業主任まで務めているのか？といわれるでしょう。

ワイズメンズクラブは、YMCA を支えて社会に奉仕を標榜する任意団体ですが、その前に会員同志の“交流”を大切にしている団体でもあります。一言に“交流”といっても必ずしも、DBC や IBC だけを差すものではありません。むしろ、ワイズにおける例会や多くの活動全てが、“交流”から成り立っていると思われます。ワイズメンズクラブに集まる会員は、育ちも家庭も、職業も、性別、年齢、受けてきた教育、信仰や主義信条など多くの「違い」を持った人々の集まりです。会社ではこうだったからとか、家庭ではこうだとか、自分が学んだ学校ではこうだったといった違いは当然、全ての皆さんが持ったまま参加しています。国際に目を転じれば、国籍、政治体制や歴史、言語、肌の色、環境、教育、宗教、住まい、食事など何と違いの多いことでしょうか。

そういった違いはワイズに入ったからといって一朝一夕に変わるものではありません。まずはそういった“違い”を認めることからスタートしなければなりません。そんな違いの多い団体にどうして皆さんは集まるのでしょうか。私は会社や家庭では味わえない“癒し”があるからだと思います。江戸時代、男尊女卑の時代に阻害された女性たちが駆け込んでいた“駆け込み寺”というものがありません。現在でもその役割を担っている組織やボランティアも存在するでしょう。いわばワイズはそんな社会や家庭とは離れた一種の“駆け込み寺”的な役割も持っているのではないかと思います。会社や家庭で面白くないことがあっても、ワイズに行けばしっかり握手で迎えてくれて、話を聞いてくれる仲間がいるということで、集まっているでしょう。一方「一身上の都合」とか「自己都合」などの理由で奥ゆかしく去っていかれる方の中には、ワイズで話を聞いても

らえなかったからという裏返しでもあったのかも知れません。実は先にお話したように、私のような方も多いのではないかと思います。そんな方を少しでもワイズに留まっていたきたいという願いを込めて務めていることも事実です。30人の内、29人に話を聞いてもらえなかったとしても、たった1人に話を聞いてもらえたら、人は癒されるものです。聖書の中によく出てくる100匹の羊を飼っている羊飼いが、居なくなったたった1匹の羊を大切に探すという有名なお話にも似ています。(マタイによる福音書18章10-14節、ルカによる福音書15章3-7節)

人の話を聞くとときは「聴く」という「傾聴」の姿勢が大切です。「聴く」とは字のごとく「耳」と「目」に「心」を「+」して「聴く」ことなのです。そこには

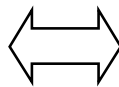
- ① 無条件の肯定
- ② 相手の話を聴いたらまずは、ありのままを受け入れて、自分の経験や考えを押し付けない、また秘密を守ること
- ③ 最後にお互いが理解し合って(自己理解)人生において自己実現できるように努力し合うこと

★これらの「**聴く姿勢**」は現在、カウンセリングの基本姿勢として、心理学者のカール・ロジャーズ博士が提唱した理論「来談者中心療法」として多くの分野で普及実施されています。

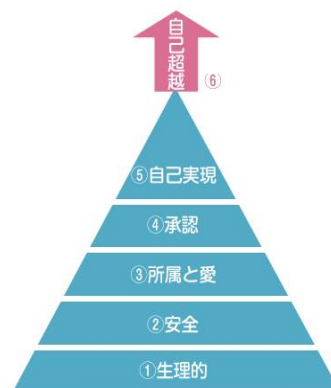
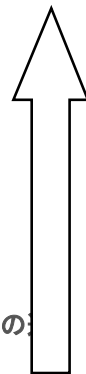
☆その際には出来るだけ「**D行の言葉**」例えば「だって」「でも」「どうして」「だから」「どうも」などの言葉は使用しない方が人間関係が良くなると言われます。これらは相手を否定する言葉だからです。私たちは意見の違う相手に出会ったと真っ向から対立しがちです。そこには自己主張に逸るあまり相手を思いやる姿勢が薄れてしまい、言葉が強くなる傾向があります。そこはぐっと堪えて、まずは優しく相手の話に「耳」と「目」に「心」を「+」して「優しさ」を傾ける姿勢を持ちたいものです。ここには必ずしも「口」は出てきません。「見守り」といった言葉を必要としない「ノンバーバル・アプローチ」もあるからです。

私たちは会員を増やしたいという EMC の前にまずは、会員同志の基本的な“交流”を大切にしたいものです。その中から仲間は自然と増えるものと期待します。交流はまずは家庭から始まります。マザー・テレサの言葉です。“**愛は家庭から**” 家庭は一番小さなしかも最初の“**交流**”の場でもあるのです。

EMC は交流から奉仕へ！



マズローによる「**満足度欲求5段階説**」の自己実現への



## EMC事業実施報告書の公開

2018－19年度西日本区 EMC 事業委員会

今期も EMC 事業を中心とした活発な活動を「EMC 事業実施報告書」にして報告いただいています。そんな様子を公開いたします。皆様のクラブでも EMC 事業を強化する活動がありましたら、是非お知らせ下さい。

今月ご報告いただいています報告書は以下の通りです。

### 9. 京都部・京都トップスクラブゲストさん歓迎例会(EMC 例会)

京都トップスクラブ会長 本田 正人ワイズ  
同 EMC 委員長 牧野 篤文ワイズ

### 10. 京都部・京都トップスクラブ EMC 旅行(伊勢志摩)

京都トップスクラブ会長 本田 正人ワイズ  
同 EMC 委員長 牧野 篤文ワイズ

## (EMC) 事業実施報告書

平成30 年9月15日

ワイズメンズクラブ国際協会

西日本区理事 \_\_\_\_\_ 遠藤 通寛 様

西日本区(EMC)事業主任 \_\_\_\_\_ 小野 勅紘 様

京都部 部長 \_\_\_\_\_ 川上 孝司 様

京都部事業主査 \_\_\_\_\_ 山口 雅也 様

会 長 本田 正人 ㊞

(EMC)担当 \_\_\_\_\_ 牧野 篤文 ㊞

下記の通り( EMC )事業活動を実施しましたので、報告します。

### 言 己

1. 事 業 名 ゲストさん歓迎例会 (EMC 例会)
2. 実施年月日 (又は期間) 平成30年9月12日
3. 実 施 場 所 京都祇園 cotowa

1. 概要・結果（別紙可、実施資料・写真添付）

メンバー候補のゲストさんを総勢27名招待して、参加頂いたゲストさん一人一人をスポンサーが全員に紹介する、ゲストさんが主役の例会を開催いたしました。純粋にメンバー候補のゲストさんのみを招待した例会としては、トップスクラブでの歴代最高記録のゲスト数になり、多くのメンバー候補のゲストの皆さんに喜んで頂き、近い将来トップスクラブのメンバーとしてお迎えできると思います。トップスクラブメンバー全員の力が結集した EMC 例会を開催することができました。（別途写真、資料添付）

5. そ の 他

※（ ）内に事業の種類を記入（Yサ・ユース）（地域奉仕）（EMC）（ファンド）（交流）（広報）（メネット）



※4部作成の上、理事及び事業主任・部長及び事業主査へご提出下さい。

実施報告

書」のフォーマットです。コピーしてお使い下さい。

今期も EMC 事業を中心とした活発な活動を「EMC 事業実施報告書」にして報告いただいています。そんな様子を公開いたします。皆様のクラブでも EMC 事業を強化する活動がありましたら、是非お知らせ下さい。

今期ご報告いただいています報告書は以下の通りです。

1. 瀬戸山陰部岡山クラブ:EMC 例会(2018年7月17日)
2. 京都部京都めいぷるクラブ:ENC 納涼例会(2018年8月4日)
3. 京都部京都トップスクラブ:トップス経営塾第5弾(2018年9月14日)
4. 京都部京都トップスクラブ:トップス経営塾第6弾(2018年11月1日)
5. 京都部京都トップスクラブ:新入会員オリエンテーション  
(2018年11月7日)
6. 京都部京都ウエストクラブ:EMC 例会(2018年11月22日)

—みんなで日本酒を嗜む会・京都の伝統産業「梓酒造」を知る会—  
ゲストに門川京都市長はじめ48人を招いて開催

## 1. 瀬戸山陰部岡山クラブ EMC 例会

7月17日19時～、岡山教会にて 参加者:16名

### 7月EMC例会報告

日時:7月17日(火)7:00～

場所:日本基キリスト教団岡山教会4階

出席者:秋山、石原、河田、蔵知、白鳥、高原、滝川、竹内、谷川、長壽、磨田、丸山、三浦、米良、渡辺、ゲスト:小野勅紘

卓話「NGT98 作戦」 小野勅紘西日本区EMC事業主任

(NGT98 N:賑やかな例会 G:元気で若々しく T:楽しいお友達を98人お招きしましょう)

7月新年度期スタートはEMCの月ということもあり、小野勅紘西日本区EMC事業主任をお迎えし、事業主題である「NGT98 作戦」を、「西日本区新生ワイズ起こし運動」との取り組みを交え、お話していただきました。西日本区の過去18年間の各部、クラブごとのメンバー数の推移

のデータをベースに京都、九州のメンバー増加、逆に減少をしているクラブ等分かりやすくお話してくださいました。また、メンバーが増加クラブはなぜ増加しているのか、傾向を研究し水平展開してはどうか、減少しているクラブは「去るものは追わず」ではなく、やめたメンバーの動機、原因を調査することにより対策を練ることでクラブ全体の安定が計れる、等など貴重なアドバイスもしてくださいました。短い時間しか取れませんでした。卓話後の対話も活発におこなわれ、今後のクラブの在り方をしっかり考えていかなければならない事を実感いたしました。

(石原康正)



## 2. 京都めいぷるクラブ EMC 納涼例会

1. 事業名 8月第1例会「EMC 納涼例会」
2. 実施年月日(又は期間)2018年 8月 4日 (土)
3. 実施場所 しょうざんリゾート京都
4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)

8月第1例会は恒例の納涼例会ですが、今期はメンバー候補2名、元メンバー1名の参加を頂き“EMC 納涼例会”として開催。元メンバーとの久しぶりの再会も話しも弾み楽しい時間となりました。メンバー候補のお二人も一人は来月第2例会でゲストスピーカーにもう一人も近々入会オリエンテーションを開催する予定となりました。



・先ずは、井上(耕)副会長の乾杯！

元メンバー、メンバー候補と共に美味しい料理と楽しい会話を楽しみました。



- ・坂下会長、松村副会長をはじめ  
クラブ一丸となって今期の事業を  
盛り上げてゆきましょう。

### 3. 京都トップスクラブ EMC 例会

1. 事業名 : トップス経営塾第5弾
2. 実施年月日(又は期間) 平成30年9月14日
3. 実施場所 京都三条 YMCA マナホール
4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)  
「メンバー満足度向上」の一貫として恒例になりましたトップス経営塾の第5弾を開催致しました。今回はマーケティング、集客のスペシャリストであるコンサルの三輪幸司氏を愛知県からお招きして、「結果のでるマーケティング」というテーマで、講演して頂きました。トップスメンバー22名、ユースを含むゲスト8名に参加いただき、経営に役立つ経営塾の開催ができました。参加されたゲストさんの中には、ワイズメンズクラブ、トップスクラブに興味をお持ち頂いた方も数名いらっしゃいました。(別途資料、写真添付)

### 4. 京都トップスクラブ EMC 例会

1. 事業名 : トップス経営塾第6弾
2. 実施年月日(又は期間) 平成30年11月1日
3. 実施場所 京都三条 YMCA101 号室
4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)  
恒例になりましたトップス経営塾の第6弾を開催致しました。今回の講師はトップスクラブのキーメンバーで、ワイズ歴36年の新山兼司ワイズです。講演内容は「ワイズの出会いで人生が変わった! ~事業多角化のあゆみ~」というテーマで、新山ワイズが若くしてワイズと出会い、多くの経験や人との出会いで、タイル事業を専業としていた、会社を不動産、建築、一級建築士事務所、保険代理店など、関連事業を多角化され事業を大きく躍進された経緯をレクチャーして頂きました。

## 5. 京都トップスクラブ EMC 例会

1. 事業名 : トップス新入会員オリエンテーション

2. 実施年月日(又は期間) 平成30年11月7日

3. 実施場所: 京都ウエスティン都ホテル 菊の間

### 4. 概要

今期初となる新入会員オリエンテーションを開催致しました。9月開催の「ゲストさん歓迎例会」に出席され、クラブ会則規定により、例会2回連続出席された3名の方の入会条件が整い、オリエンテーションを開催して、YMCA、ワイズメンズクラブ、トップスクラブの詳細な説明を行いました。有志のメンバーも15名参加し、厳粛に執り行われました。新入会員の3名の方々から、正式に入会の意志を確認して、役員会で承認されれば12月、1月に入会式を行う予定です。(別途写真、資料添付)

## 6. 京都ウエストクラブ EMC 例会

### 1. 事業名

EMC 例会 みんなで日本酒を嗜む会 京都の伝統産業「酒造」を知る

2. 実施年月日(又は期間) (西暦) 2018 年 11 月 22 日

3. 実施場所: 京都東急ホテル「葵の間」(京都市下京区堀川五条下ル)

### 4. 概要・結果(別紙可、実施資料・写真添付)※箇条書きに記載

クラブメンバー増強のため、ウエストクラブの活動を知っていただき、メンバーとゲストが楽しめる会を開催するべく企画しました。京都には世界に誇れる伝統工芸がたくさんありますが、その中でも日本酒は外国人にも人気が出てきています。グローバルに活動するワイズメンの嗜みとして、日本酒をもっと理解するということも視野に入れました。

今回はまず、ウエストクラブの最近の活動紹介をさせていただきました。

そして、酒蔵さんにご講演いただき、自慢の日本酒を味わい、ちょっとしたうんちくを学べるようにお話しいただきました。

また、「京都、日本酒とくれば、門川京都市長！」ということで会の趣旨を書面にし、8 月末頃に今回ご参加いただけないかオファーをしました。

門川市長にもご公務でお忙しい中駆けつけていただき、日本酒条例に至った経緯や、日本酒で乾杯することの意味を語っていただきました。

ゲスト 30 名、ビジター14 名、来賓 5 名、メンバー32 名の参加でした。

翌日の門川市長のフェイスブックにも、ウエストクラブへ訪問したことの報告が掲載されてお



りました。ご来場いただいた方々には、伝統工芸「清水焼」のおちょこをお土産として  
お持ち帰りいただきました。日常の中で工芸品があるちょっとした贅沢を味わっていただくた  
め、そしてウエストのことを思い出していただくための試みでした。  
ゲストの方々には二次会にも参加していただき、1名は入会の意思確認ができました。

